

高圧ガス球形タンクの減災対策について

1 脚柱部分の減肉調査事例集の作成

高圧ガス球形タンクの脚部の腐食について、県高圧ガス保安協会に委託することで事業者の検査事例を収集し、取りまとめて、自主的な検査の促進を図る。
県内コンビナート地域の球形貯槽を有する 15 事業所（合計 162 基）について、脚部の腐食検査に係る実態調査を実施した。

【今後のスケジュール】

平成 29 年 2 月 : 防災本部幹事会(2/3)へ報告
 県高圧ガス保安協会から調査結果報告書提出
 平成 29 年 4 月 ~ : 事例集として公表

2 水による耐圧試験に代わる新たな検査方法の作成

東日本大震災時の L P ガスタンクの爆発を踏まえ、水による耐圧試験に代わる、安全に強度を確認するための検査方法について、研究開発及び制度化を国に対して要望した。
 また、現行基準で安全が担保できる対象について、従来 of 県の運用を緩和する。

【進捗】

平成 28 年 8 月 : 14 道府県協議会として新しい方法の研究開発と制度化を要望
 (8/29 経産大臣)
 平成 28 年 10 月 : 経産省高圧ガス保安室に要望内容の詳細説明 (10/7)
 平成 28 年 11 月 ~ : 新運用案作成、保安分科会(12/12)で運用案の検討

【今後のスケジュール】

平成 29 年 2 月 : 防災本部幹事会(2/3)へ報告
 平成 29 年 2 ~ 3 月 : 運用開始、事業者説明